

記述回答のまとめ ◎=30以上 ○=10以上 △=1~9 *複数回答可

問17 秋田県のスポーツの現状について、感じていることにご意見をお聞かせください。

【記述者数 1,310名】

ア スポーツ少年団活動について (309名)

◎指導者について 50名

◇指導者が不足

- ・指導者の確保 ・専門家の確保 ・指導者の養成
- ・指導者の確保が難しく考え方で指導方法が異なる。また、近年熱中症対策など医学的知識も要求される。

◇専門家の指導が必要であるが、確保が難しいので、いろんな意味で教員に指導してほしい。

◎過熱化について 51名

◇土日の試合・大会が多く、休日がない状態である。

◇夜間に達することもあり、指導者も子供も疲れている。

◇「勝ち」にこだわり過ぎるところがある。

◎少子化について 49名

◇少子化が進み、学校だけでのチーム作りが出来ない現状である。

◇団体競技が出来なくなって来ているので、個人競技に移行

◇単独ではチームが組めず、他地区との合同が増え負担も大きくなっている。

◎保護者について 45名

◇親の負担が多く、当番の日は仕事を休まなければならない。

◇スポ少なのに親と子を巻き込んだ活動である。

△底辺拡充 3名

◇子供たちがやりたいスポーツが出来る環境づくりが必要。

◇クラブを増やし、選択数を多くして質を高めていく。

○情報について 11名

◇広報や写真付きで活動を紹介して欲しい。

◇年少から取り組めるよう市町村で力を入れて欲しい。

◇色々な種目を紹介し、スポーツの楽しさを伝えて欲しい。

△施設について 8名

◇地域のスポーツ施設が減って来ている。

◇体育館は手狭、無料開放の施設を増やして欲しい。

◎要望・提案 33名

◇学校単独では難しくなってきたので、地域での支援が必要。

◇地域の行事や自然とのふれあいなど、練習ばかりに特化しないで活動して欲しい。

◇活動日の制限が守られていないので、順守するよう指導して欲しい。

◎その他について 59名

◇地域により偏りがあり、団の対応のみでは限界がある。

◇年齢が低くなってきたので、練習方法が合っているか心配である。

◇休みの規定を守り、町内の行事等へ参加させる。

◇指導者の数と質で、地域により偏りがある。

イ 中学校の部活動について

(170名)

◎指導者・指導について

40名

◇専門家、経験者の指導を取り入れて欲しい。

◇教師だけが部活動を運営するのはとても大変。忙しいし負担も大きい。専門の指導者を活用する。

◇専門外の顧問では子供達へきちんとした対応ができない。

・レベルの低下 ・不満の増大 ・負担が重くなる ・生徒が気の毒

◎少子化について

33名

◇競技の種目も減り、選択肢が少なくなって来ている。

◇チーム編成が難しい。

◇学校より、地域の問題として自治体も検討して欲しい。

○保護者について

11名

◇親の負担が大きい。親の送迎に頼らず、公共交通機関で移動すべき。

◎活動環境・活動実績について

50名

◇運動部の減少・縮小が進み、スポーツが出来る環境の整備が必要である。

◇活動日の制限の、賛成・反対の両方の意見がある。

・休養が取れる ・勉強時間が確保できる ・家庭の手伝いができる

・種目が違うので一律に無理がある ・思った強化ができない ・自己トレーニングが増え、事故が心配

◇地域・学区を超えて活動のできる体制の構築。

◎その他

36名

◇種類が少ないので、本当にやりたい種目がない。

◇小学校の種目と中学校の種目が連動していない。

◇プロサッカーで盛り上がっているが、中学校にサッカー一部がなく、底上げにならない。

◇県選抜に選ばれたが、1回の合宿Tシャツ購入で終わった。

ウ 高校の部活動について

(91名)

○指導者・指導について

15名

◇全国で勝てる指導者の確保。

◇ボランティアだけでなく専門コーチを導入して欲しい。

◇モラルのない指導者もいる。

△活動環境・施設について

7名

◇学校により施設の格差が大きい。

◇活動時間を減らす事により、志気が下がる。

◇手軽に施設が借りられれば良い。

△情報について

3名

◇中学校で活躍した生徒の県外流失を防ぐ。

○強化支援について

23名

◇金足農業は感動した。これに続けれるようレベルアップを図って欲しい。

- ◇プロやオリンピックで活躍している選手との交流の場をもって欲しい。
- ◇冬季競技は活躍しているが、夏季競技は全国で勝てないので、強化して欲しい。

△保護者負担

6名

- ◇部活にお金がかかるので、出せない家庭はあきらめるしかない。
- ◇保護者を頼った部活の運営はおかしい。

◎その他

37名

- ◇少子化で部員が確保できない。県外流失にも繋がる。
- ◇留学生を入れず、県内の生徒だけで頑張ってもらいたい。
- ◇サッカー、ラグビー、バスケット全国で勝てなくなった。

エ 大学生のスポーツについて (9名)

△活動の強化・支援について

9名

- ◇活躍している種目がない。
- ◇県内の学生のレベルがわからない。
- ◇大学の取り組みや活性化を図る。

オ 社会人のスポーツについて (138名)

◎スポーツ機会拡充・環境について

61名

- ◇若者の集まる場としてもっとスポーツが出来る環境・イベントを整備してほしい。
 - ・無料の施設の整備
 - ・多くの人が参加できる企画、イベント
 - ・クラブチームを増やす
 - ・施設利用時間の柔軟な対応
- ◇主婦や子供がいる人でもスポーツを楽しめるようにしてほしい。
 - ・託児所や子連れのプログラム
 - ・種目の多様化、多くの選択肢
 - ・安価で気楽に利用できる施設
- ◇企業の支援、自治体との連携
 - ・スポーツへの理解
 - ・活動への支援
 - ・仕事優先から両立の出来る勤務体制
 - ・施設の提供、多くの人が参加できる企画
- ◇トレーニングルームや設備のメンテナンスの規模を拡大

○情報について

24名

- ◇社会人を対象としたスポーツクラブやイベント等の情報が少ない。
- ◇地域のイベントを増やし、PRする。
- ◇クラブ・サークルの紹介

△労働環境について

9名

- ◇会社の理解・協力
 - ・勤務体制を考慮
 - ・仕事との両立
 - ・仕事、家庭への配慮
- ◇スポーツを理解、力を入れている会社、企業が少ない

◎その他

44名

- ◇県内で在住しながら世界で活躍する選手を多く輩出してほしい。
- ◇大会を増やし、子供から老年まで親しめるスポーツ環境を整える。
- ◇バドミントンの活躍が素晴らしい。ほかの競技でも秋田を盛り上げてほしい。
- ◇競技環境への配慮
 - ・フルマラソンの企画
 - ・サイクリング環境の整備
 - ・モーグル場の整備
 - ・フットサルの出来る施設
 - ・綱引きへの助成

カ 高齢者のスポーツについて

(177名)

◎スポーツ機会拡充・設備について

85名

◇施設に対する要望

- ・身近に施設がない 施設の数不足
- ・施設が遠い 移動に苦勞する、歩いて行ける範囲に、交通の便を良くする
- ・施設利用 利用料金が高い、予約が取れない、

◇指導者に対する要望

- ・指導者不足
- ・指導者の育成

◇指導内容等

- ・気楽に参加できるプログラム・持続性を持たせる・高齢者でも活動出来ようにする

○地域・行政との連携について

24名

◇無料で、施設の利用及び送迎

◇巡回での教室の開催

◇自治会単位での運動の普及

◇冬期間における活動の確保（交通、暖房等）

○情報について

19名

◇活動のPR

◇種目や組織の紹介

◇他地区の活動の実態や、指導者の情報の提供

- ・どんなスポーツがあるか 高齢者でも無理なく気楽に参加できるスポーツなど

◎その他

49名

◇ニュースポーツに参加したい

◇若者との交流

◇ボランティアに参加したい

◇健康対策

- ・認知症にかからない
- ・病気にかからない
- ・若返る

キ 障害者のスポーツについて

(35名)

○活動の支援

14名

◇NPOの取り組みに感謝する。

◇支えてくれる人の拡大を図る。

◇指導者が不足している。

◇大会を増やし、積極的に告知する。

△地域・行政との連携について

4名

◇バリアフリー化の促進

◇市町村規模でのイベントの開催

◇開催が少ないし、県での取り組みが見えない。

○その他

17名

◇障害者スポーツに接したことがない。

◇大会の有無、ボランティアの詳細を知りたい。

◇パラリンピックの競技などを開催し、見る機会を提供してほしい。

◇パラリンピックの競技などを開催し、見る機会を提供してほしい。

ク プロスポーツについて

(231名)

◎興行の誘致について

54名

- ◇県内の地方都市でももっとプロスポーツの開催をしてほしい
- ◇様々な競技が間近で観戦できると子供達も興味を持つことが出来ると思う。
- ◇プロ野球の試合の県内開催を増やしてほしい。
- ◇秋田では観る機会が少ないため、市町村と連携して、どんどん誘致を図ってほしい。
- ◇駐車場を整備し、チケットを安くし、観客の増員を図るべきである。
- ◇県南に開催がなく、意識が盛り上がらない。

○今後の期待について

19名

- ◇プロスポーツの上のリーグでの活躍を期待する。
- ◇地元のチームで地元の選手が活躍すれば、もっと盛り上がると思う。
- ◇強くなれば、集客アップに繋がり、経済効果も期待できる。

◎施設整備について

52名

- ◇スタジアムの建設について
 - ・早期に建設してほしい
 - ・プロスポーツを充実させるためにも建設を早めてほしい
 - ・人口減が続いている中で、大きな施設は不必要
 - ・実績を積んでから検討する
- ◇サッカーだけでなくほかの競技の施設も整備すべきである。

△行政・企業の支援について

5名

- ◇合宿の誘致など、施設の活用、ジュニアの養成など積極的に行ってほしい。
- ◇行政は積極的にプロスポーツを支援すべきである。
- ◇スポンサーが不足。行政、企業の支援が必要だ。

○広報について

12名

- ◇テレビ中継を増やしてほしい。
- ◇行政とマスコミが連携して、積極的に広報してほしい。
- ◇地元の選手や、開催日を知る機会が少ない。

◎その他について

89名

- ◇県出身の選手が活躍すれば、子供たちに良い影響を与える。
- ◇サポーターの応援が素晴らしい。大いに盛り上がる。
- ◇人口減、過疎化の中、地域活性化に貢献している。もっと盛り上げてほしい。
- ◇県出身者の活躍が少ない、チケット代が高い、施設に金をかける必要があるか。
プロが優先され、それ以外のスポーツが会場を使用できない。

ク その他について

(150名)

- ◇スポーツ環境を整備し、子供から高齢者につながる体制の整備
- ◇全世代が利用できる複合型の施設の建設
- ◇冬場の運動不足に対応する施策（体育館の暖房、運動器具の充実等）
- ◇「健康長寿日本一」を目指すプログラムの周知
- ◇市主催の若者の交流を図るスポーツイベントを開催し、結婚とかにつなげる
- ◇スポーツ人口も減っているので、底辺を拡大する方策を考える
- ◇少子化、共働きによるスポーツ離れに対応した施策の構築
- ◇スケート場の通年使用
- ◇スポーツやイベントのできるドーム施設の整備
- ◇運動が出来ない状況を調査し、対策を練る
 - ・交通手段の確保
 - ・施設の老朽化
 - ・チーム編成
 - ・指導者不足
 - ・経費について